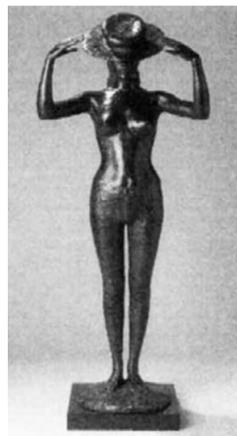


丸沼芸術の森25周年記念展

—佐藤忠良の小宇宙— (朝霞市)



帽子・立像

950年代以降の作品を、高い評価を受けている。紹介する展覧会が開催されます。

戦前から活躍を続ける佐藤は戦中のシベリア抑留という過酷な体験の後、制作活動を再開。53年には「日本人による日本の日本人の最初の表現」と評された作品が、東京国立近代美術館に収蔵されるなど、日本における彫刻の礎を築きます。81年にフランス国立ロダン美術館で日本人として初の個展を開催、90年には宮城県美術館に佐藤忠良記念館が設立され、また、今日では各地にその彫刻が公的に設置されるなど、

持ち、作者のやさしい眼差しを感じさせます。さらに、佐藤は周囲の自然を丹念に描いた素描も数多く制作しています。本展では所蔵品からブロンズ、素描など約30作品が展示されます。

【会期】10月18日(土)～10月31日(金)(会期中無休)午後5時(入場は30分前まで)

【入場料】五百円(高校生以下・美術学生・65歳以上は無料)

【記念講演会】10月18日(土)午後2時～3時30分「彫刻家・佐藤忠良氏とその作品のあゆみ」三

90歳代半ばを過ぎた現在も旺盛な制作活動を行う彫刻家・佐藤忠良の1

なっています。また、絵本「おきなかぶ」の作者としても佐藤は知られ、親しい子どもたちをモデルにした彫刻も多く手掛けています。その像は生き生きとした表情を

上満良氏(宮城県美術館学芸員) ☆参加費:無料(別途入場料が必要) ☆募集人数:先着60名、要事前申込。往復葉書に住所、氏名、連絡先を明記の上、左記までご送付ください。

【ギャラリートーク】10月25日(土)午後2時～3時「飾らない人 佐藤忠良さん」舟橋紘一氏(舟橋ギャラリー代表取締役) ☆参加費:無料(別途入場料が必要) ☆事前申込:不要。

【申込・問合せ先】丸沼芸術の森 〒351-0001 朝霞市上内間木493-1 電話048-4562533まで。

「地デジ」について全ての質問に答えます

デジタル相談会実施中

メディアアッティ東上(志木市)

テレビのアナログ放送は2011年7月24日までに終了いたします。そのころ地デジ(地上デジタル放送)受信の準備をはじめませんか?

どうしたら地デジが見られるの?今もっているテレビでも見られるの?それとも買い換えが必要?アンテナは?チューナーは?録画はできるの?等等、全ての質問に丁寧に答えられます。

デジタル相談会は、メディアアッティ東上(東武東上線柳瀬川駅スグ鹿島ビル4F)で随時実施しております。

また、10月よりケーブルテレビ緊急地震速報も

【主なコース】みずほ台駅西口↓御嶽講の塚↓南遺跡↓栗谷津公園↓江川親水公園↓神井戸↓水谷第一集会所(昼食)↓柴崎山不動院↓太郎兵衛の墓↓氷川神社↓尾張家陣屋守りの家↓甲子大黒天↓大応寺↓水宮神社↓水子貝塚公園↓みずほ台駅東口(解散)(約8km)

☆会場:埼玉医科大学川越キャンパス 越谷駅前6階大会議室 ☆受講料:2000円 ☆申し込み:問い合わせセンター 市民公開講座係049-276-1707

☆申込・問い合わせは淑徳大学049-274-1501、文京学院大学049-266-0035まで。

富士見市資料館 友の会主催 「第11回ふるさと探訪」

(富士見市)

【とき】10月26日(日)午前9時30分～午後3時(小雨決行) 【集合】東上線みずほ台駅西口9時15分

【参加費】300円(持ち物) 昼食、飲み物、雨具、敷物など 【定員】40人 【申し込み】難波田

【とき】10月25日(日)午前9時30分～午後3時(小雨決行) 【集合】東上線みずほ台駅西口9時15分

【参加費】300円(持ち物) 昼食、飲み物、雨具、敷物など 【定員】40人 【申し込み】難波田

【とき】10月25日(日)午前9時30分～午後3時(小雨決行) 【集合】東上線みずほ台駅西口9時15分

加齢に伴う肺の病気を防ぐ

埼玉医科大学公開講座

10月25日(川越市)

【高年齢者の肺炎】13時～14時30分 前 繁文(埼玉医科大学病院感染症科・感染制御科教授)

【肺年齢—肺も年をとるの?】14時45分～16時30分 金澤實(埼玉医

【高年齢者の肺炎】13時～14時30分 前 繁文(埼玉医科大学病院感染症科・感染制御科教授)

健康に生きる

淑徳大学文京学院 大学共催公開講座

心とからだの「健康」

心とからだの「健康」について、改めて考えるきっかけにしてください。受講料無料。

1日目(10月4日)13時30分～16時15分 「無限の絆の結び方」として、レクリエーションや家族と健康がどう結びつくの

【高年齢者の肺炎】13時～14時30分 前 繁文(埼玉医科大学病院感染症科・感染制御科教授)

【高年齢者の肺炎】13時～14時30分 前 繁文(埼玉医科大学病院感染症科・感染制御科教授)

【高年齢者の肺炎】13時～14時30分 前 繁文(埼玉医科大学病院感染症科・感染制御科教授)

サイボクありが トンまつり

(日高市)

サイボクハム(埼玉種畜牧場、日高市)は、恒例の「ありがトンまつり」を開催する。こだわりの食や癒しなど貴重な体験を提案し、地域とともにさらなる発展を目指すが狙い。

☆日時 10月11日(土) 13日(月・祝) 9時～17時 ☆内容 「トン子豚クイズ」抽選で賞品「名物炭火焼スベアリップ」(400円)など期間限定クルメ、「ありがトンおもしろハウス」(お子様の楽しめる遊び)、「ステイ

☆日時 10月11日(土) 13日(月・祝) 9時～17時 ☆内容 「トン子豚クイズ」抽選で賞品「名物炭火焼スベアリップ」(400円)など期間限定クルメ、「ありがトンおもしろハウス」(お子様の楽しめる遊び)、「ステイ

☆日時 10月11日(土) 13日(月・祝) 9時～17時 ☆内容 「トン子豚クイズ」抽選で賞品「名物炭火焼スベアリップ」(400円)など期間限定クルメ、「ありがトンおもしろハウス」(お子様の楽しめる遊び)、「ステイ

写真展(坂戸市)

坂戸市)

平成13年から開催、回を重ねるごとに規模が拡大、全国有数のよさこい祭りに成長した坂戸よさこい。昨年の写真コンテストの入賞作を展示します。

10月から来年3月まで月1回、日曜日に、比企川越地域の史跡を巡る。講師は、今井敏夫氏(作家、元毎日新聞出版局、鳩山町在住)。

申し込みは、じもとメディア049-257-8739まで。

平成13年から開催、回を重ねるごとに規模が拡大、全国有数のよさこい祭りに成長した坂戸よさこい。昨年の写真コンテストの入賞作を展示します。

平成13年から開催、回を重ねるごとに規模が拡大、全国有数のよさこい祭りに成長した坂戸よさこい。昨年の写真コンテストの入賞作を展示します。

比企・入間 歴史ツリーング

比企・入間

LLP(有限責任事業組合)じもとメディア(市川勤代表、事務局:鶴ヶ島市富士見1-1-8)では、「比企・入間歴史ツリーング」の参加者を募集している。

10月から来年3月まで月1回、日曜日に、比企川越地域の史跡を巡る。講師は、今井敏夫氏(作家、元毎日新聞出版局、鳩山町在住)。

申し込みは、じもとメディア049-257-8739まで。

LLP(有限責任事業組合)じもとメディア(市川勤代表、事務局:鶴ヶ島市富士見1-1-8)では、「比企・入間歴史ツリーング」の参加者を募集している。

LLP(有限責任事業組合)じもとメディア(市川勤代表、事務局:鶴ヶ島市富士見1-1-8)では、「比企・入間歴史ツリーング」の参加者を募集している。

編集雑記

私事で恐縮だが、5月末に不注意で左足を負傷し2か月近くの松葉杖生活を余儀なくされ、思いがけず駅のバリアフリー問題に直面することとなった。

最寄りの川越駅は階段を利用せずにエスカレーターとエレベーターでホームまで行けるが、問題は池袋駅での丸の内線への乗り換えだ。階段以外で行きつくにはメトロポリタン口から南地下通路・オレンジロードを経由して丸の内線改札に至ると言う遠回りな余儀なくされる。こうした状況を改善するために、東武鉄道はホームから中央通路目白寄り改札口に通じるエレベーターを設置するという。喜ばしい限りだが、ちょっと不安もある。

ご存じのように、4・5番ホームをTJライナーが占拠する時間帯、各停が2・3番線に入り、急行電車が入線が発車間際となつて、乗車待ちの客が1・2番ホームにあふれ大混雑となる。「ホーム端を歩かないで!」と駅員が叫んでも、ホームの端以外に歩くスペースがないのだから仕方ない。この状況でホーム上にエレベーターを設置したら、スペースはさらに狭くなる。転落や接触事故を防ぐためのホームドア設置を検討すべき時期ではないだろうか。

山下 龍男

編集雑記

私事で恐縮だが、5月末に不注意で左足を負傷し2か月近くの松葉杖生活を余儀なくされ、思いがけず駅のバリアフリー問題に直面することとなった。

最寄りの川越駅は階段を利用せずにエスカレーターとエレベーターでホームまで行けるが、問題は池袋駅での丸の内線への乗り換えだ。階段以外で行きつくにはメトロポリタン口から南地下通路・オレンジロードを経由して丸の内線改札に至ると言う遠回りな余儀なくされる。こうした状況を改善するために、東武鉄道はホームから中央通路目白寄り改札口に通じるエレベーターを設置するという。喜ばしい限りだが、ちょっと不安もある。

ご存じのように、4・5番ホームをTJライナーが占拠する時間帯、各停が2・3番線に入り、急行電車が入線が発車間際となつて、乗車待ちの客が1・2番ホームにあふれ大混雑となる。「ホーム端を歩かないで!」と駅員が叫んでも、ホームの端以外に歩くスペースがないのだから仕方ない。この状況でホーム上にエレベーターを設置したら、スペースはさらに狭くなる。転落や接触事故を防ぐためのホームドア設置を検討すべき時期ではないだろうか。

山下 龍男

編集雑記

私事で恐縮だが、5月末に不注意で左足を負傷し2か月近くの松葉杖生活を余儀なくされ、思いがけず駅のバリアフリー問題に直面することとなった。

最寄りの川越駅は階段を利用せずにエスカレーターとエレベーターでホームまで行けるが、問題は池袋駅での丸の内線への乗り換えだ。階段以外で行きつくにはメトロポリタン口から南地下通路・オレンジロードを経由して丸の内線改札に至ると言う遠回りな余儀なくされる。こうした状況を改善するために、東武鉄道はホームから中央通路目白寄り改札口に通じるエレベーターを設置するという。喜ばしい限りだが、ちょっと不安もある。

ご存じのように、4・5番ホームをTJライナーが占拠する時間帯、各停が2・3番線に入り、急行電車が入線が発車間際となつて、乗車待ちの客が1・2番ホームにあふれ大混雑となる。「ホーム端を歩かないで!」と駅員が叫んでも、ホームの端以外に歩くスペースがないのだから仕方ない。この状況でホーム上にエレベーターを設置したら、スペースはさらに狭くなる。転落や接触事故を防ぐためのホームドア設置を検討すべき時期ではないだろうか。

山下 龍男

健康に生きる

淑徳大学文京学院 大学共催公開講座

心とからだの「健康」について、改めて考えるきっかけにしてください。受講料無料。

1日目(10月4日)13時30分～16時15分 「無限の絆の結び方」として、レクリエーションや家族と健康がどう結びつくの

健康に生きる

淑徳大学文京学院 大学共催公開講座

心とからだの「健康」について、改めて考えるきっかけにしてください。受講料無料。

健康に生きる

淑徳大学文京学院 大学共催公開講座

心とからだの「健康」について、